前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏(法人	(法人にあっては名称)								住 (法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 104-8285							
名 日新才	日新オイリオグループ株式会社							所 東京都中央区新川一丁目23番1号								
本票作成	本票作成 部署名: 日清オイリオグループ㈱水島工場 管理課															
主たる業	種 分	類 - ド	09	業種名	:食料品	品製法	造業									
	大豆‡ 生産を				原料とし	_ン 、扌	窄油から	製品	1 (1	食用油脂お	よひ	「飼料原	料油	粕)す	きでの	一貫
	番号	- 号 工場等の名称							所 在 地							
	1	日》	清オイリオグループ㈱水島工場					岡山県倉敷市水島海岸通三丁目2番地								
県内の	2	岡口	山営業所					岡山県岡山市北区駅前町二丁目5番24号						<u>コ</u> .		
主 な 工場等																
上物守									4							
at to a Landa Sile	[∩ W	4.4c) /// 174.4	亏汰 	F001.01	1.1.		a 15	h 1	1004 77	050-	<u> </u>			-0.00	. 13.1.1
特定事業の該当要	, LJ		·科寺// :場等(., 500KUL		」②// 所	4 • F7		100台、タクシー 車両台数((.02換昇		切上 台)
***************************************	11 (- 場守い	ク叙		2	ŊΙ		Ŀ	平門口剱 ((40700	ヨ <i>い場</i>	(a')		Î	<i>⊐')</i>
温室効果ガ	ス基	準 年	度(令	和 元	年度)		(令和	1 2)年度排出量	上	目標年	度(令	和	6 £	F度)
排出量			2	7,636					28	8,758 t CO ₂					7 t C($)_2$
	<u> </u>	番号 工場等の名類							(令和 2)年度排出量							
		① 目情オイリオグルース			プ(株)	水島工場	易	28,7						3 t C(
主な工場		2)	岡山営	業別											5 t C(
の排出量															t CO	
	_	_													t CO	
	-														t CO	
t t						t CO) 2									
业山外上 田 小田		画期	間:	4	令和	2	年度	_	\sim	令和	6	年度	(5	箇年	度)
削減目標 達成状泡			総排出	量基準	(2)年度	削減	実績	責 目標	削減	率		目標	達成	
,2,91010		✓:	原単位	L 基準		۷	△ 5.4		%	ć	3.0	%	□達	成	☑ =	卡達
(医光序中	温温	医効果	果ガス0	り排出量と	:密接な関	関係を	もつ値の	内容			原単	位当たり				
(原単位基 の削減目標	を「は	吏用エネルギーのCO2換算値]╱([原料処					松机		基準年度	(2)年度		標年原	变	
選択してい 場合に記入								1	67	1	71	. \	1	65		
									Kg	CO ₂ /(t)	Kg	$20_2/($ 1)	$kgco_{2}$	/(t)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和	2 4	F度)	達成率等
指標の状況						

【削減状況の自己評価】

- ・生産工程の運転管理、生産機器の更新、省エネタイプへの空調機更新、照明の改善(蛍光灯、水銀灯→LED)及び高効率モーター等への順次更新を継続的に実施している。
- ・原料の品質が悪く、製品の品質を確保するために蒸気、電気の使用を増やす必要があったため、前年度より温室効果ガス排出量が増える状況となった。

【推進体制】

- ・省エネ法に基づくエネルギー管理体制の基、エネルギー管理士が中心となりエネルギー使用状況を確認している。また、工場内の横断チームである省エネトライアルチームが、省エネルギー活動に取り組んでいる。
- ・IS014001に基づき、国内生産4拠点およびグループ会社を含めた全体で環境管理システムを推進しており、当水島工場では工場長をトップに各職場およびグループの物流会社と共に環境管理体制を構築し、環境管理を推進している。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

_	【目標削減率達成のために美麗	<u>4した措直及い今後の取組】 </u>
	工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
	日清オイリオグループ㈱水島工場	(2020年度実施分) ・高効率省エネ機器への更新と導入(LED照明、空調、高効率変圧器、高効率モーター、インバータ) ・熱交換器の増設による熱回収量の増加 ・省エネ月間活動の推進(省エネ委員会開催、外部セミナーへの参加) ・スチームトラップ、エアリーク外部診断による不良個所の設備改修 ・安定操業の推進による環境負荷の低減のための、設備の計画的点検と早期修繕 ・昼休み休憩時間の照明消灯活動 (今後実施予定分) ・搾油工場更新時の省エネ機器導入及び熱バランスの可視化導入(2021年度稼働予定) ・冷水塔設備更新時に電動機へのインバータ、台数制御導入及び冷水塔排熱回収によるヒートポンブ導入(2021年度稼働予定) ・高効率省エネ機器への更新と導入(LED照明、空調、高効率変圧器、高効率モーター、インバータ)

【森林保全等吸収源対策への取組】								
県内で の取組	無							
その他	無							
【再生可能エネルギーの導入】								
県内で の取組	無							
その他	無							
【その他	【その他特記事項】							